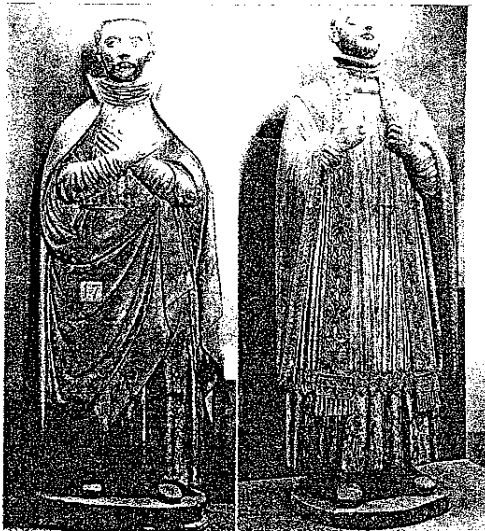




無所属クラブ 教育予算でのフロイス・ザビエル

2100万円3D像制作中止を求め申入れ



5月19日、岐阜市議会 無所属クラブは教育予算での3D 機械製造のフロイスとザビエル像(信長公450プロジェクトに使用)へ「2100万円も支出することに反対」である事を、市議会共産党とともに細江市長と教育長に申し入れました。本物はポルトガルのリスボンにあり木製、3D像はプラスチックになるとの事です。

写真ルイス・フロイス像(左) フランシスコ・ザビエル像
像リスボン市・海軍博物館蔵 写真提供・市歴博館長

教育予算でのフロイス・ザビエル2100万円3D像制作中止を求める申し入れ書

本年5月15日の新聞は「エンゲル係数急上昇中 食品値上げ、収入増えず」の見出しで、「家計の支出に占める食品の割合を示し、高くなるほど生活が苦しいと言われる『エンゲル係数』が日本で急上昇している。」と報じています。総務省家計調査は本年3月のエンゲル係数(二人以上世帯平均)は24.5% 3年前の21.9%から2.6ポイント上昇。年収333万円以下は3年前と比べ4.2ポイントも高い29.9% 3月に30%に迫ったのは31年ぶり。一方で「実質賃金指数」は4年連続低下。と分析しています。

エンゲル係数の急上昇は当然ながら岐阜市民の家計でも教育費の低下へと影響を与えていると思われ、全国的に議論の高まりを見せている「給付型奨学金制度」も国民、市民の生活困窮がその背景にあると考えます。

そのような時、岐阜市民には市教育予算については費用対効果をはじめ、その用途に対し厳しい目があります。市教育予算に信長公450プロジェクト・フロイス像ザビエル像複製制作費が28年度29年度2ヵ年で2100万円の内28年度630万円が計上されています。機械製造による製品とのことであります。市教育予算2100万円で複製品を作成する必要性も意義も理解出来ません。

信長公450プロジェクトは企画や観光予算で構成されるべき事業であり、どうしても高額な像が必要であるなら商工会議所など産業界の力を要請すべき事業です。また、金額的には像ではなく、フラッグ等に変更することも考慮すべきです。よって、市教育予算を使用する2100万円のフロイス・ザビエル3D像作成を中止することを申し入れます。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

高橋正 議会運営委員長 への不信任（案）動議 5月臨時議会

5月17日の議会運営委員会でテレビ放映時間外の質問時間が答弁を含めて60分とすることが多数決で決定されました。

今日まで、代表質問はテレビ放映時間の配分（放映時間内に予定会派の質問を終了するため）の影響から、答弁を含めて60分となっていました。質問時間がテレビの影響を受ける事への批判もあり、「テレビをやめてはどうか」と言われる人（議員）もいました。

が、今日では、現在の答弁含め60分が定着してきました。これが、テレビ放映時の制約が「答弁を含める」ことになった経過です。「答弁を含める」ことでの弊害は、答弁時間（答弁者の意図的か不用意かは別にして）が長くなると質問者の時間が相対的に短く制約（再質問、再々質問の時間が無くなる）される事です。

今までは、テレビ放映以外は、本来の「議員の質問時間を保証する」考え方が尊重されて来ました。テレビ放映以外の時、議員の登壇時間（答弁を含めて）が長くなる場合は、多くは「答弁時間の長さ」に原因がありました。本来、議員の質問の権利を保障することこそが議会改革のあるべき姿です。

私たちは理事者の「簡潔な答弁」努力を機会あるごとに要請して来ましたが、今日まで大きな成果が見られません。議会運営委員会としては、その点をもっと要求し進めることが議会改革のなすべき課題です。議員質問時間の持ち時間40分が明記されないと、結果として答弁長時間化がはかられ、質疑の不消化となる結果になりかねません。

このように議員活動にかかわる重要な事案が全会一致を旨とすべき議会運営委員会で多数決にて強行される運営がされました。さらには、委員会開会中に委員の議案質疑に対し「そんなことは、会議が終わってから聞いて」と委員長席からの発言がされました。運営が極めて遺憾であります。高橋正 議会運営委員長への不信任案を提案いたします。

提案者 松原のりかず



松原のりかず
☎058-253-2500